

み 議会だより

# みなみちた



平成 30 年 2 月 1 日発行

第162号



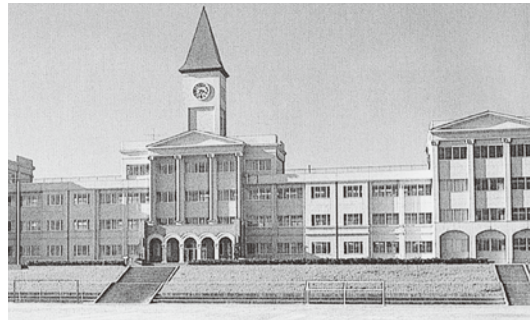
常任委員会合同行政調査報告	2
12月定例議会の審査結果・委員会スポット	3～5
一般質問（7名が登壇）	6～12
常任委員会管内視察報告	13
一般質問その後どうなった？	14

12月2日に開催された第41回南知多町少年サッカー大会において日間賀小学校が激戦を制して優勝しました。

# 常任委員会合同行政調査

11月9日・10日の2日間、文教厚生常任委員会と総務建設常任委員会が合同で、富山県小矢部市と石川県野々市市で行政調査を実施しました。

小矢部市の観光ビジョン、野々市市の大学との連携について、今後の議員活動の参考となる、大変有意義な調査となりました。



【蟹谷中学校】中央の尖塔は、オックスフォード大学、校舎中央はベルサイユ宮殿を模倣しています。

## 【富山県小矢部市】

小矢部市では小・中学校や駐在所などの施設35棟をメルヘンチックな外観の建築物にしており、それらは地域のシンボルとして観光の目玉となっている。

また、アウトレットモールの誘致にも成功しており、約2000人の新たな雇用を創出している。これらの成果は小矢部市が人口減少を最重要課題として取り組んだ結果である。南知多町の人口減少の対策においても、他の市町との差別化を図ることが重要であると感じた。



野々市市職員の方からの説明

## 【石川県野々市市】

野々市市は市内と近隣の5つの大学と連携協定を締結しており、野々市市の特産品である椿を利用した商品の共同開発、英語版の各種パンフレットの作成、地域防災・減災プロジェクトなど、これまで多くの効果ある連携事業を実施している。



【純米吟醸酒「いち椿」】市花木ツバキから採取した酵母を活用した花酵母のお酒。

これらの取り組みは、外部から来た学生に地域への関心を持ってもらうだけではなく、卒業後の定住等にもつながっていく。今後の南知多町のまちづくりや高齢化対策を考える上で、大変有意義なものであったと強く感じた。

# 12月定例会

12月定例議会は12月5日から11日間の会期で開催し、「南知多町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について」始め議案12件を審議しました。採決の結果は、以下のとおりです。

《12月5日採決》			石黒 充明	榎戸 陵友	松本 保	吉原 一治	服部 光男	石垣 菊蔵	内田 保	小嶋 完作	片山 陽市	鈴木 浩二	山本 優作
議案	件名	結果											
	専決処分の承認を求めることについて (平成29年度南知多町一般会計補正 予算(第3号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
《12月15日採決》													
議 案	南知多町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	南知多町議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	南知多町特別職の職員で常勤のもの の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	南知多町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	南知多町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	南知多町母子家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成29年度南知多町一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成29年度南知多町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成29年度南知多町介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成29年度南知多町水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○は賛成、×は反対。議長(藤井満久)は採決に加わらない。

# 委員会スポンツ

## 予算関係

### ◆平成29年度一般会計

#### 補正予算(第4号)

**問** 図書購入のための寄附は、毎年いただいているか。

**答** 今回は、知多信用金庫様の創立90周年記念事業として、南知多町だけでなく、知多5市5町や周辺自治体の一部に一律50万円の寄附金をいただくもので、今年度限りの寄附となる。

**問** 空調設備のメンテナンス費用として、燃料費及び電気料の補正予算が上がっているが、今後必要となるか。

**答** 日々のメンテナンスが必要となるのは、クーリングタワーを利用した水

冷方式により空調設備を稼働させる冷房期間のみであり、暖房期間はクーリングタワーの稼働が不要となるため、日々のメンテナンスの必要はない。今後も、空調設備の延命化を図るため、冷房期間については、短時間ではあるものの、メンテナンスのための稼働が必要となる。

**問** 旧姓併記について、住民票等にもどのように併記されるか。

**答** 住民票やマイナンバーカードに併記される旧姓については、まだ確定していないが、住民票は旧姓の欄を設けて記載し、マイナンバーカードには氏名の後ろにかっこ書きで記載する予定である。

**問** 障害者総合支援法の一部改正の内容は何か。

**答** 主な改正内容として、地域生活の支援を行う「自立生活援助」や、就労定着に向けた支援を行う「就労定着支援」の障害福祉サービスが創設されること、また、既存のサービスの拡充として重度訪問介護の訪問先拡大や高齢障害者の介護保険サービスの円滑な利用促進として一定の高齢障害者に対し、介護保険サービスの利用者負担が軽減される仕組みの創設などである。

**問** 知多南部衛生組合の分担金で、南知多町と美浜町の割合はどのくらいか。

**答** 知多南部衛生組合の分担金の割合は、南知多町が52.68%、美浜町が47.32%となっている。

◆平成29年度介護保険特別会計補正予算(第2号)

**問** 介護予防・生活支援サービス事業費の増額補正は、保険給付費から移行したもののだが、それによって町の負担が増えたか。また、保険給付費から移行しなかったとすると、町の負担は生じなかったか。

**答** 増額の要因は、要支援1及び要支援2並びに総合事業対象者の訪問介護及び通所介護サービスの増によるが、この給付費の財源については、国・県・町・第2号被保険者の負担分である支払基金及び第1号被保険者の負担分である保険料において、それぞれ決まった負担割合があり、町の負担分はその負担割合に応じたものになる。また、保険給付費と総合事業の町負担割合は同じなので、移行しなくても町の負担は変わらない。

## 条例関係

◆南知多町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について

**問** 農地利用最適化推進委員の活動は何か。

**答** 農地利用の集積・集約化の推進や、遊休農地の発生防止・解消の推進を行うことが主な活動である。

◆南知多町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

**問** さかのぼって適用するものがあるが、なぜか。

**答** 給与表の改正を平成29年4月1日から適用するためである。

◆南知多町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

**問** 育児休業を取得した実績はあるのか。

**答** 正規の職員に対しての育児休業の取得実績はあるが、非常勤職員に対しての実績は、今までない。

◆南知多町母子家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について

**問** 改正の内容及び、「控除対象配偶者」と「同一生計配偶者」の具体的な違いは何か。

**答** 所得税法改正の関係で、控除対象配偶者に加え同一生計配偶者、源泉控除対象配偶者という用語が増えた。内容は、同一生計配偶者は、控除を受ける本人の所得制限はなし。その配偶者の所得が38万円以下となり、改正前の控除対象配偶者と同じ意味になる。

控除対象配偶者は、控除を受ける本人の所得が100万円以下で、その配偶者の所得が38万円以下に変更となる。

源泉控除対象配偶者は、控除を受ける本人の所得が900万円以下で、その配偶者の所得が85万円以下になる。

◆公益的法人等への職員のパ遣等に関する条例の一部を改正する条例について

**問** 派遣職員に支給することができるとある給与を、給与と規定する理由は何か。

**答** 篠島保育園に対して、保育所運営を委託しているが、国が定める保育単価で算定した人件費分と実際に保育園が支払っている人件費の差額について、町

が運営費補助金として支出している。現行条例では、保育園が派遣職員の給与の一部を支払うため、増加する分についても町が補助金を支払うことになることや、派遣職員の不利益にならないように全ての給与を町が支給できるようにするためである。





石垣菊蔵議員

# Q ミックスペーパーの分別収集以外、何か他に減量につながる施策は

## A 刈り草の堆肥化やプラスチック類の分別収集、家庭系ごみの有料化も考えている

ミックスペーパーの収集が開始されたことについて

**問** 本年10月より「ミックスペーパーの分別収集」を開始するにあたって、住民の皆さんにどのように周知し、説明会を行ってきたか。

**答** 柴田厚生部長  
各種のチラシを作成し全戸配布や町内各地域での住民説明会等を40回開催した。この他にも、集積所の看板の交換、町広報・町ホームページなどで住民周知を図ってきた。

**問** 10月からのミックスペーパーの収集実績と可燃ごみの減量効果はどうか。

**答** 柴田厚生部長  
10月から11月の2か月間で17回収集が行われ、収集量は、本町全体で2か月合計16.59トンであった。

なお、その間の家庭系可燃ごみ処理実績は、前年の10月及び11月と比較して、2か月合計で89.65トンの減少となった。

**問** ミックスペーパーの収集日におけるごみ集積所等で何か問題等があったか。

**答** 柴田厚生部長  
数回、排出状況を確認し、その状況は、概ね良好であったが、黄色の可燃ごみ袋が出されているところもあり、早々に区長さん方と対策を協議していきたい。

**問** 家庭系ごみの減量化目標を平成34年度までに、3割減としており、ミックスペーパーの収集だけでは目標値に届かないことが推測される。他に減量につながる施策はあるか。

**答** 柴田厚生部長  
刈り草の堆肥化、せんだした枝の資源化、プ

ラスチック類の分別収集による減量を検討し、さらには、家庭系可燃ごみの有料化を行うことも考えている。

**問** ごみ減量化等に頑張っている地域・地区に、「ごみ減量・資源化推進活動協力金」などの支援をしてはどうか。

**答** 柴田厚生部長  
先進市町や近隣市町の状況や動向などを確認し、検討していきたい。

### 自主防災会等津波避難路整備事業補助金について

**問** 制度発足後の補助件数と、地区別の補助件数はどうか。

**答** 中川総務部長  
平成25年4月制度発足後から平成28年度までの補助件数の合計は20件で地区別では、内海地区9件、豊浜地区4件、師崎地区5件、篠島地区1件、日間賀島地区1件である。

**問** 補助は、津波避難防災マップに掲載された場所以外でも活用できるか。

**答** 中川総務部長  
補助対象としている補助金の使途に請負による経費は認められないが、対象に加え、活用できないか。

**問** 自主防災会が自分達で出来る範囲の活動を想定しての制度のため、請負経費は補助対象としていないが、今後検討していきたい。



豊浜中洲伊勢山 津波避難路階段



片山陽市議員

# Q 内海地区の台風 21 号による被害は、どれくらいだったか

## A 床下浸水被害家屋が 10 件あった

### 内海地区の水害被害について

**問** 台風 21 号による総雨量と最大時間雨量はどれだけか。

**答** 中川総務部長  
町内に設置している観測所の計測によると、10月21日0時から23日24時までの間に降った降水量は317ミリであった。また、この間の最大時間雨量は、23日0から1時の間に記録した47.5ミリであった。

**問** 床下浸水の被害を受けた家屋の件数とその地区はどこか。

**答** 中川総務部長  
内海地区において、区長さんからの報告件数をまとめると、楠区7件、東端区3件の計10件であった。

**問** 10月22日午後4時頃、内海川樋門を閉めた理由と、住民へ周知した

かった理由は何か。

**答** 中川総務部長  
10月20日午前11時30分に内海川水門操作協議会を開催し、一旦閉めて内・外水位の様子を見て判断するという方針になり、午後4時に水門を閉鎖した。しかし、急速に内水位が上昇したため、即時、全開した。閉鎖した時点で協議会委員に連絡したが、住民には周知していない。その理由は、水門閉鎖が必要かどうか確認のための閉鎖であったためである。

**問** 道路の冠水等による通行止め箇所と、その時間はどうであったか。

**答** 中川総務部長  
内海地区における通行止めは、5か所であった。町道内海山海線は、10月22日午後2時30分から23日午後4時30分まで、すいせんロードは、土砂崩れのため、10月23日午

前8時から11月2日午後3時30分まで。その他の3か所については、冠水のため10月22日午後5時50分から10月23日午前8時までに順次解除した。

**問** 内海千鳥ヶ浜の飛砂防止対策について、内海川河口に堆積した砂が、水害の原因の一つになっていないか。また、防砂ネットを町で一括発注し、対策を講じられないか。

**答** 鈴木建設経済部長  
内海川河口に堆積した砂の影響について、河川内への土砂堆積を助長する状況になれば河川断面の縮小などの水害の原因の一つになると考えられる。平成27年度に砂の除去、平成28年度は施設改良を実施した。今年度は、すでに河口に防砂ネットを設置し、対策を行っている。関係各区が設置したものに對しては、

南知多町観光協会を通じて補助を行っている。



内海川右岸に設置された防砂ネット



# Q 産業や観光、教育など大学との協定をどのように考えるか

## A 連携の可能性を探り、協定を検討していきたい



榎戸陵友議員

### 観光ビジョンについて

**問** 本町で新たに計画している建築物は何かあるか。それをメルヘン調など町のシンボリックな外観にすることはどうか。

**答** 鈴木建設経済部長  
現在、日間賀島渡船施設、師崎港観光センター、内海観光センターの建設を計画しているが、地元と協議し、地元の意向に沿ったデザインを検討していく。

**問** 観光で何か新規事業を計画しているか。また、現在どのような事業を行っているか。

**答** 鈴木建設経済部長  
外国人観光客の誘客につながるため、外国語パンフレットの作成、知多半島観光圏協議会において「魅力いっぱい知多半島スタンプリー」を計画している。現在、実施して

いる主な事業は、観光宣伝テレビスポット等事業、観光情報誌作成事業、観光地美化推進事業、海水浴場保護及び浴客安全対策事業などである。

### 大学との連携協定の締結について

**問** 本町では、何か大学と連携事業を行っているか。

**答** 内田教育部長  
知多地区5市5町の教育委員会が平成28年10月に愛知教育大学と、「相互連携に関する協定」を締結している。

**問** 「地域防災・減災プロジェクト」は、南海トラフ巨大地震がいつ起きてもおかしくない本町にとって貴重な事業だと考えるがどのように思うか。

**答** 中川総務部長  
愛知工業大学とは、防災訓練を、日本福祉大学とは、地域防災リーダー養成講座において、講義やワークショップを実施した。

今後、大学等との連携による効果的な事業について検討していきたい。

**問** 産業、観光、教育、福祉など大学との連携により、より良い高度な事業が展開できると思うが、今後、大学との連携協定の締結を考えるとどうか。

**答** 田中企画部長  
大学に集積する知識や情報・ノウハウを行政やまちづくりの施策に生かすことができると考えている。また、若い学生人材が、人口減少や少子高齢化などの、様々な課題を抱かえている地域に入ることで、地域、学生双方の人材育成につながり、これからの課題解決に向けた新たな展開が期待できると考えている。

具体的な連携の可能性を探りながら、協定の締結も視野に検討していきたい。

具体的な連携の可能性を探りながら、協定の締結も視野に検討していきたい。





内田 保議員

# Q 「核兵器禁止条約」をどのように評価しているか

## A 核兵器廃絶に向けて、大変意義深く、声明文書に賛同している

核兵器禁止条約への参加の働きかけを

**問** 町長は、平和首長会議の声明文書に賛同しているか。また、核兵器禁止条約をどのように評価するか。

**答** 石黒町長

平和首長会議の加盟都市として賛同している。また、核兵器禁止条約は、唯一の戦争被爆国の国民として、悲劇を繰り返さないために大変意義深いと考える。

**問** 南知多町が「非核・平和自治体宣言」をすることに、町長の決意と見解はどうか。

**答** 石黒町長

毎年、戦没者慰霊祭に参加し、二度と戦争を起こしてはいけないという思いを強くしている。身近な活動を通じて町民の機運を盛り上げ、議会と歩調を合わせ、検討していきたい。

第7期介護保険計画・福祉計画について

**問** 介護保険料の第1段階の保険料を0.4以下にして、1千万円以上の13段階を設定して低所得者に配慮してはどうか。

**答** 柴田厚生部長

現在、保険料段階を12段階としているが、今後、所得階層ごとの被保険者数や近隣市町とのバランスを考慮し、検討していきたい。

**問** 介護保険利用者負担軽減のため、住宅改修・福祉用具の受領委任払い制度を実施できないか。

**答** 柴田厚生部長

住宅改修と福祉用具購入については、多くの市町で受領委任払い制度を導入していることは承知している。今後、検討していきたい。

今後の国民健康保険制度のあり方について

**問** 愛知県による9月の試算では、1人あたりの保険料納付額が県内で唯一15万円台になり、

本年度並の調定額にするには約1億円程度の繰り入れが必要ではないか。

**答** 柴田厚生部長

本年11月の時点での平成29年度決算見込みでは、約6500万円の剰余金が出る見込みで、来年度、予算編成は剰余金を使うことで、法定外繰り入れを増額することなく、予算編成は可能と考える。また、法定外繰り入れについては、他の保険に加入している人からただく税金も使うことになり、慎重に検討する必要があると考える。

障害者福祉計画について

**問** 障害者間の差別解消に向けて、行政・バス会社等への働きかけと同時に、精神障害者に対して船賃が身体・知的障害者と同じになるよう町として、全額補助の考えはあるか。

**答** 柴田厚生部長

身体障害者手帳1・2級、及び療育手帳A判

定の方のバス・船の運賃は、町の助成と事業者の割引により実質無料だが、精神障害者保健福祉手帳1・2級の方は、海つ子バス以外の事業者の割引がなく運賃の半額を負担することとなっている。町としては、身体・知的・精神の3障害について同様にバス・船運賃の半額を助成するものと考えており、精神障害者保健福祉手帳1・2級の方への運賃の全額助成は考えていない。

予防接種事業について

**問** 高齢者の肺炎球菌ワクチンの個別通知を実施し、2500円からより利用しやすい2000円にできないか。

**答** 柴田厚生部長

個別通知は行っており、広報等でお知らせしている。自己負担は当面、2500円と考える。

# Q 水産試験場と連携して、魚食の普及を

## A 施設の活用を県に要望していく



吉原一治議員

### 魚食の普及と水産物の消費拡大について

**問** 漁業の振興を図るため、本町の水産物を全国に広く周知し、消費拡大にどのように取り組んでいるか。

**答** 鈴木建設経済部長  
町では優れた水産加工品も、南知多ブランド「ミーナの恵み」として認定している。

これらを町内外に発信し、知名度を高め、販路拡大や需要の増加につなげている。また、ふるさと納税（南知多応援寄付金）の謝礼品としても全国に紹介し、消費拡大に努めている。

**問** 学校給食において、魚食の普及、拡大を行っているか。また、海産物の地産地消の推進のために取り組んでいることはあるか。

**答** 内田教育部長

地産地消の取組みとして、毎月19日を「南知多のお魚の日」とし地元産の海産物を使い、食育を推進するとともに地産地消に取り組んでいる。また、「我が家のアイデア料理」のコンテストを実施し、入選作品を献立に採用している。



**問** 町内外の子どもたちにも、体験学習などを通して、漁業や水産資源に対する理解を深める取り組みを行っているか。

**答** 内田教育部長

町内の小学生を対象に、稚魚を放流する「種苗放流事業」を実施している。

また、各学校主体の取組みとして、漁港、水産加工場、ノリの種付け作業の見学や魚さばき教室の開催などがある。

町外の子どもたちに対する取組みとしては、町観光協会各支部を中心に、地引き網、干物作り、漁師体験などを行っている。

**問** 漁業の啓発や魚食の普及について、水産試験場との連携の可能性をどのように考えているか。

**答** 鈴木建設経済部長  
豊浜にある県水産試験場漁業生産研究所は、

水産資源を守り、調査研究する機関であり、水産業の普及活動は蒲郡市にある水産試験場本場で

行っている。

漁業の啓発や魚食の普及に係る連携の可能性については、今後も県と協議しながら、施設の活用を要望していく。



愛知県水産試験場  
漁業生産研究所(豊浜)



服部光男議員

# Q 施設を災害時に使用できる協定の進捗状況は

## A 内海高校やJAと協定締結に向けて進めている

### 津波浸水域の見直しについて

**問** 南知多町には最大9.5mの津波が押し寄せると想定されていますが、防災マップの浸水域の設定には川をさかのぼる「遡上」が計算に入っていない。

**答** 素早い避難に結び付けるためにも、浸水域の見直しを図るべきと思うが町の対応はどうか。

**問** 中川総務部長

**答** 本町での浸水想定は、愛知県が平成26年に公表したもので、幅10m以下の河川の遡上による影響を、考慮した想定ではない。町独自で想定を見直すことは困難なため、現段階では考えていない。

**問** 9月議会でも質問した、内海高校、JA

知多南部花きセンターの非常時の使用について、進捗状況はどうか。

**問** 中川総務部長

**答** 非常時使用に際して、協定書原案を作成中で、今年度中に、締結ができるように進めていきたい。



内海中学校海拔表示

### 企業誘致による産業の振興について

**問** 常任委員会合同行政調査で訪れた富山県

小矢部市では、大規模な企業誘致により、人口の増加や雇用の創出に成功した。本町でも企業の誘致と開発をすべしと思うが、このような開発の障害となる要因は何か。

**問** 田中企画部長

**答** 本町は、約85%が市街化調整区域となっている。また、ほぼ全域が自然公園の指定を受け、市街地を除く多くの地域が農業振興地域となっている。都市計画法を始め、自然公園法や農振法などによる法規制に加え、造成に適しない丘陵地が多く、産業インフラや道路交通網の整備も遅れている。こうした本町の特性が、大規模な開発に適した用地の確保を困難にしていると考えられる。

**問** 沿道サービス、道の駅の誘致等商業面での可能性はどうか。

**問** 鈴木建設課長

**答** ドライブインなどは、市街化調整区域内において、設定し、道の駅については、沿道サービスや道路管理施設や休憩所給油所などの設置が可能だが、何を作るかにより

判断される。

**問** 町内の事業者を流出させないためにも、工業団地を造成して企業立地を進める考えはあるか。

**問** 田中企画部長

**答** 町の活性化のため、企業をこの町にとどめることの重要性は認識しているが、企業の立地に適した用地を確保することは難しく、その造成には財政的な問題もある。特区制度等の規制緩和により、農地の転用などは可能になるかもしれないが、農業を始めとした第1次産業を柱に発展してきたこの町の成り立ちや社会情勢の変化を見据えて、方向付けをしていく必要がある。



三井アウトレットパーク 北陸小矢部

## Q 在職中の町職員の居住地別人数は

A 町内居住者は120人、町外居住者は98人である



山本優作議員

町内120人		町外98人	
内海地区	48人	美浜町	46人
豊浜地区	38人	武豊町	24人
師崎地区	24人	阿久比町	1人
篠島地区	5人	半田、常滑市	22人
日間賀島地区	5人	東海、名古屋市	5人

町職員の居住地別の人数内訳

**町職員の町内居住促進について**

**問** 町職員は地震・津波などの災害に迅速に対応できるよう、すぐに駆けつけられる場所に住む必要があると考える。在職中の町職員の居住地別の人数内訳はどうなっているか。

**答** 中川総務部長  
11月1日現在の特別職を除く町職員218人の居住地は次の通りである。

**問** 町職員に非常配備が招集された場合、何分以内に職員が配備することに決められているか。

**答** 中川総務部長  
何分以内というのはいない。特に決められていない。連絡を受けた職員は直ちに登庁し、所要の任務につくことになっている。

**問** 過去には町職員は町内在住が条件であったが、現在その条件はない。今後採用する町職員からは町内に住むことを再び義務化できないか。

**答** 中川総務部長  
公正な採用選考を行う観点から、町内居住者に受験者を限定し、応募機会を制限することは「居住地域による差別」となる恐れがあるため義務化できない。



**町職員の海っ子バスの利用促進について**

**問** 在職中の町職員の役場への通勤手段は、どうなっているか。

**答** 中川総務部長  
11月1日現在の特別職を除く町職員218人のうち、車などで通勤する者は192人、全て公共交通機関で通勤する者は1人、徒歩で通勤する者は25人である。



**問** 町職員は海っ子バスを使って通勤するよう努力できないか。

**答** 中川総務部長  
職員が通勤に利用する経路は時間的・経済的に最も合理的な経路を選択するものでもあるため、職員にとって不利な通勤方法を強いることは難しい。

## ようこそ議場へ

### 「海っ子バス乗り方教室」

11月13日に内海・山海まちづくり協議会「きずなの会」が、定期的に開催している「海っ子バス乗り方教室」に、内海小学校の2～4年生の児童11人が参加しました。

バスの乗り換えをしながら、役場を訪問し議場の見学をしました。



議場見学の様子

## 常任委員会管内視察報告

### 【総務建設常任委員会】

平成29年11月15日に総務建設常任委員会6名による管内視察が行われました。

大規模災害への備えとしての防災拠点施設2か所（篠島、内海）、師崎避難所、港橋（大井）の橋梁長寿命化修繕工事、師崎漁協では、建築中の製氷・貯氷施設を見学しました。前浜（篠島）では新しい観光スポットを目指す、「恋人の聖地」の整備事業を視察しました。



師崎避難所（旧ピラマリン南知多）の視察の様子

### 【文教厚生常任委員会】

平成29年11月16日に文教厚生常任委員会6名による管内視察が行われました。

放課後等デイサービス「こんぱす」、学校給食センター、山海ふれあい会館に運び込まれた郷土資料館資料、大井保育所の外部改修等工事などを町担当職員らの説明を受け、質疑と意見交換を行いながら視察しました。



山海ふれあい会館内、郷土資料館資料の視察の様子

## 一般質問、その後どうなった？

平成29年9月定例会において、「内海浜田川の氾濫対策」に関し、次のような質疑・答弁がされました。

**Q** 台風などの豪雨発生時において、大潮の満潮時に氾濫する理由と対策は。

**A** 浜田川周辺の土地が低いことや、大潮の満潮時や台風の気圧低下による異常潮位が重なり、川からの水が海に流れ出ないことが理由である。対策として、浜田川の一部において、今年度より護岸のかさ上げ工事を実施している。

その後、浜田川の工事はどうなったでしょうか。

護岸のかさ上げ工事が完了した部分については、氾濫の恐れが少なくなりました。



工事未施工箇所



工事完了箇所

## 3月定例会の日程（予定）

3月2日(金) 9時30分～	初日	議案上程、質疑、委員会付託 等
3月5日(月) 9時30分～	二日目	一般質問
3月16日(金) 9時30分～	最終日	委員長報告、質疑、討論、採決 等

※都合により変更となる場合があります。

※議会の日程は、町ホームページでもご覧いただけます。

■本議会の一般質問は、ケーブルテレビ(CCNC)で放送されます。

ケーブルテレビの放送予定日

3月11日(日) 午前10時～ 地上デジタル 121ch

3月19日(月) 午後10時～ 地上デジタル 121ch

3月定例会の会議録は、5月下旬ごろ町公式ホームページに掲載する予定です。